



株式会社堀場製作所

林 勇氣さん

川西市出身。市立明峰小学校を卒業後、松陰中学校の部活動でアーチェリーに出会った。松陰高等学校を経て同志社大学へと進学。就職後、仕事と両立しながら競技を続け、北京五輪では団体8位入賞を果たした。代表選出を逃したロンドン五輪後も挑戦を続け、ワールドカップやアジア・グランプリなど、世界を舞台に活躍を見せてきた。今年7月に開催された世界選手権大会では団体戦で4位に入賞し、五輪への切符を勝ち取った。

アーチェリー競技で五輪への出場が決定 リオデジャネイロに挑戦

北京では、団体8位入賞

2016年の五輪ではメダル獲得をめざす



「アーチェリーという競技との出会いについて教えてください。」

小さいころからアニメの「ロビンフッド」が好きで、中学校に進学したら、弓道部に入りたいと思っていました。でも、私の中学校にはなくて、代わりにアーチェリー部があったんです。母親に聞くと、「アーチェリーも弓を引くのよ」って。すぐに入部しました。なんだか、先輩が道具を持っていて姿もカッコよかったですよ（笑）。

「五輪を意識し始めたのはいつごろですか？」

部活を始めてから、どんどんアーチェリーが好きになって、もっと上手になりたい気持ちが強くなりました。高校1年生の時、知り合いの先生がコーチとしてシドニー五輪の舞台に立っていました。テレビで見ていて会場の雰囲気を感じたんです。「私もあの舞台に立ちたい。上をめざそう」と思うようになりました。

「子どもたちにメッセージをいただけますか？」

私は、アーチェリーを子どもたちに教えるときに、「目標は大きく持ちましょう。そして口に出したり、書いたりしましょう」と伝えていきます。いつも意識することで、不思議と試合に緊張しなくなるんです。何のためにキツイ練習を続けなければいけないのか、その意味も見い出せる。夢は大きく持つてほしいと思います。

「最後に意気込みを聞かせてください。」

出場するからには、めざすのは世界一。きつとメダルを取って帰ってきます。

CHECK & QUIZ

次の空欄（○の中）を埋めてください。

1：○政事情を公表します 2：未○を漢字（感じる）一文字募集

クイズ正解者の中から図書カード（1,000円分）を5人に差し上げます（正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します）。応募方法：ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、今号で興味のある記事と感想を書き、12月10日（木）（消印有効）までに〒666-8501・広報課「クイズ」係へ。

※11月号の正解は（分）（キ）で、92通の応募がありました。

10月末現在の人口

男……………76,231人（-16）

女……………83,983人（-57）

計……………160,214人（-73）

世帯数…69,019世帯（-1）

川西の元気いっぱい
キャラクター
きんたくん



もうすぐ
炭焼き
の季節